
幸福者

タケノコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幸福者

【Nコード】

N0708I

【作者名】

タケノコ

【あらすじ】

幸運の星の下に生まれた青年。幸せ続きの彼の前に現れたのは…

…

あるところに幸運の星の下に生まれた青年がいた。

というのも例えば、ある日彼は仕事のため高速道路をひた走っていた。そこを悲劇が襲った。未曾有の大型地震だった。道路は寸断され、倒壊し数千人もの死傷者をだした。しかし、彼には擦り傷一つ見当たらなかった。

また、ある時青年は宝くじを買った。それが面白いように当たり億万長者の仲間入りも果たした。

さらに、彼の仕事は将来有望な高級官僚でもあり名門の生まれでもあった。

そんな極めての幸福者は、とある高級レストランで近頃であった飛び抜けて秀麗な美人と食事をしていた。

「あなたのような女性に出合えて僕は幸せ者です。できれば真剣なお付き合いをしたいのですが」

彼はお世辞ではなく本音でそう思っていた。

「そう言ってくれて嬉しいわ。でも、私……」

その美しい顔にはどこか陰りがあった。青年はきになってたまらず続けるように促した。

「……私と、お付き合いをしたかたはみんな不幸な目にあっていて

……」

俯きかげんに暗い顔をした女に男は自信をもってこう答えた。

「全く問題無いよ！僕は過去に災厄がかかって来たこともあったが

なんともなかった。他にも沢山の幸運に恵まれている！君と僕は出会おうべくして出会ったんじゃないかな」

そうしてうら若き美人とのお付き合いが始まり愛を育み結婚した。「貴方と出会えて本当によかったわ。他の人ではここまでこれなかったもの」

そういうのも無理はない。出張中に後ろから玉突き事故を起こされたり、所有していた銘柄の株が暴落したり強盗に襲われたり様々な災いに襲われた。

「ああ、僕を幸運が救ってくれたおかげだろう」

事故は運良くかすり傷程度、株は落ちきる前に売りさばけたし、強盗はなんとか倒すことができた。

「しかし君を取り巻く不幸はなかなかのものだね。一人のときはまずここまでにはならなかった」

美しい若妻は申し訳なさそうな顔になり。

「ごめんなさい。私のせいで……」

そう悲しそうな顔で謝罪の言葉を口にした。

「すまない、責めているわけじゃないんだ。それに君と一緒に居られるならやすいもんさ」

美しい顔の女性は意を決した表情になり。

「笑わないで聞いてほしいんだけど……昔、高名な占い師のかたにみてもらったことがあって……その人によると私にはついていて……」

男は悪霊かなにかだろうと、どこか納得しながらも静聴する。

（知り合いに有能な霊媒師がいたな。今度相談を……）

「……その……神様が」

予想外の答えに驚く青年。

「か、神様！？じゃあなぜ災いを振り撒くようなことを……」

美女は言葉をつまらせながらも続ける。

「……愛されているらしいの、神様に……」

呆然とする青年。

（もし、それが本当ならとんでもない恋敵を相手にしなければなら
ない。はたして己の幸運はいつまで自分を守るのだろうか……）

「おしまい」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0708i/>

幸福者

2010年11月11日05時57分発行